

「百回はやっぱりとべない」という意味で、先生と一緒に百回の目ひょうたつせいをやった。わたしは、その目ひょうたつせいをたつせいで、自分の力をあわせていました。でも、いつぱいれんしゅうしていようと、何度も長なわをしました。はじめて、長なわをした時は、あんまりとべませんでした。でも、いつぱいれんしゅうしているとだんだんとべるようになりました。

(評) 小五 福嶋さとさん
とめ・はね・はらいを意
識して、ていねいに書き上げること
ができました。



「目ひょうたつせい」

皆野小3年

山口 真奈さん

ジュニア

ミュージアム



よ。
ました。でもでき
るという気持ちでがんばり
ました。「ぜつたい百回いくよ。」
と、前にいたひろとさんに
言いました。

本番の時わたしは、
はじまつた時、わたしは、
むねがドキドキしました。
百回いけるかな、いけない
かな。さい後の方でわた
しは、

「九十五、九十六、九十七…。」
とみんなといっしょに数え
ました。わたしは、友だちが、
百回目をとんだのを見まし
た。

「目ひょうをたつせいしたん
だ…。」
と、思いました。わたしは、
みんなが

「やつたー。」

と言つてよろこんでいるの
を見ました。わたしは、「
百回いつたんだ。」
と、思いました。うれしか
ったです。

三年生では、みんなで力
をあわせて、二百回できる
ようにがんばりたいです。

(評) 小五 福嶋さとさん
みんなで力をあわせて目
ひょうたつせいにむけてがん
ばつたことがわかりやすく書
けました。

考
え
る
子

栗島 冬羽さん

皆野小6年

とわ
冬羽さん

が
あ
れ
こ

字の特徴に気を付けて大
きくのびのびと書けました。

小五 栗島冬羽



三沢小6年

福嶋 さとさん

吉岡
結晶

皆野中3年

吉岡 秀悟さん

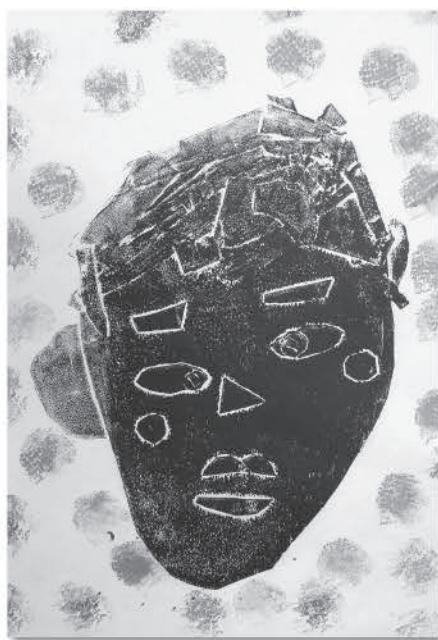
(本人のコメント)結晶の力強
さと光の反射を考えて製作し
ました。赤を足し、それらを
強調しています。



「わらつているぼく」

国神小2年

新井 康平さん



(評) にっこり笑ったすてきなかおで楽しそう！